

フクシマ環境未来基地

平成28年度

平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日



事業報告書



《ごあいさつ》

平成28年度も多くの方々のご協力により、事故やケガもなく無事に活動することができました。下三坂での活動、海岸林での活動ともにたくさんの人たちと力を合わせ進めることができました。

平成28年度は、5月～7月に福島県で初めて若者のチームによる長期間滞在型のプログラムも行うことができました。日本、メキシコ、キリギスタンからのボランティアが下三坂での森づくり活動、海岸林の整備活動、湯の岳山荘のフィールドでの活動などに取り組みました。地域の皆様にも温かく迎えていただき、交流会なども行うことができました。みんな下三坂が大好きになってそれぞれの場所に戻っていきました。

この若者のチームによる長期間の環境保全プログラムは栃木県で姉妹団体であるトチギ環境未来基地が先行して行っておりますが、昨年オーライ！ニッポンという都市農村交流に関する表彰事業で、内閣総理大臣賞のグランプリを受賞することができました。

三和町下三坂を拠点に、たくさんの若者たちが集まり、地域の方々に様々なことを教わりながら、少しでもより良い地域づくり、環境づくりに取り組んでいけるよう引き続き努力をしていきたいと思えます。皆様ありがとうございました。

フクシマ環境未来基地 代表 塚本 竜也

《 団体の概要 》

名称 フクシマ環境未来基地
住所 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40
TEL/FAX 0246-85-2777
MAIL fukushima@conservation-corps.jp
URL <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>

- 1) 若者の力で、環境問題、地域の抱える課題を解決していく
- 2) 社会貢献を通じ、次の地域・社会を担う若者をはぐくむ
- 3) 地域の価値や人のつながりを再生し、市民の手による新しい社会をつくる

○形態 任意団体
○設立 2011年5月10日 事務所開設 8月
○職員 非常勤3名 会員 一般会員・団体会員 協力会員



《 設立の経緯 》

フクシマ環境未来基地は、東日本大震災発生後の2011年5月に設立された若者主体の団体です。福島県いわき市で、全国から参加して下さるボランティアの皆さんとともに復旧・復興支援活動に取り組んできました。

現在はいわき市三和町下三坂地区を拠点にし、地域の人たちと一緒に森づくり、地域づくり活動を行いながら、復興支援活動も継続して行っています。

東日本大震災ではたくさんの教訓を得ましたが、その中でも「支え合い」、「環境とエネルギー」、「若者の力」の重要性を改めて認識しました。

私たちは活動を通じて、世代、地域、背景を超えた人と人の支え合いを構築していきます。また私たちが暮らす環境やエネルギーをより良いものに変えていきたいと思えます。そして、これからの変化の中心を若者たちが担っていけるように、若者たちと共に活動していきます。



平成28年度の主なニュース

① 第1回フクシマConservation corps(コンサベーションコア)プログラムの開催！

若者たちによる長期間滞在型の環境保全プログラム(Fukushima Conservation Corps)を5月～7月の2ヶ月間、いわき市で初めて開催しました。日本、メキシコ、キルギスタンの4人の若者が参加し、ともに生活をしながら森づくり活動をはじめ、様々な活動を行いました。



② 「苗木forいわき」プロジェクトの事務局をフクシマに移管！

プロジェクト開始以降、トチギ環境未来基地が事務局を担い活動を行ってききましたが、よりいわきの方々の活動の機会を増やし、地域の方々の力で私たちの生活を守る海岸林を再生することを目指し、フクシマ環境未来基地に事務局機能を移転いたしました。



③ 団体ホームページを改定！

平成28年度に入り、団体ホームページを大幅に改訂いたしました。ホームページでの活動の様子発信やボランティア募集などを今後は積極的に行っていきます。是非ご覧ください。



活動実績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

活動日数 144日 参加者数 1,847人／日

※NPO法人いわきの森に親しむ会、NPO法人トチギ環境未来基地との共同プロジェクトである、海岸林再生活動(「苗木 for いわき」プロジェクト)参加者含む

事業

森づくり事業部／三和町での森づくりボランティア活動の実施
福島県森づくり団体応援ツアーの実施
木をいかす、木とふれあう、木工クラフト教室の開催
林業会社との協力事業、林業女子会の運営

農業事業部／耕作放棄地の活用による田んぼ、畑での農作業の実施

復興支援事業部／海岸林の整備、再生事業(プロジェクト名「苗木forいわき」)

※NPO法人トチギ環境未来基地、NPO法人いわきの森に親しむ会と共に

横断事業／フクシマコンサベーションコアプログラム

助成

今年度は次の助成をいただきました。

○ふくしま未来基金:「苗木 for いわき」プロジェクト

○国土緑化推進機構 緑と水の森林ファンド:いわき市の森づくりボランティア活動の発展

いわき市三和町下三坂での森づくり活動

三和町下三坂での森づくり活動は活動のフィールドが広がりました。高齢化が進む地域でなかなか里山や森の手入れができないところを、ボランティアの皆さんと整備を進めています。里山を中心とした体験広場作りもスタート。里山や森林、そして木を入り口にたくさんの人たちが下三坂地区に来て、下三坂を好きになるような場所をつくっていきます。



大学生を中心にたくさんのボランティアの皆さんが作業を進めてくれました。

ヒノキ林での枝打ち作業



三和町の木を活用したクラフト工房も完成しました！

里山と地域再生を目指す、里山未来広場づくり (福島県いわき市三和町下三坂地区)



いわき市三和町下三坂地区は、いわき市中心街から国道49号線で郡山市へ向かう途中にある山間地の無落です。下三坂地区の人口は292人で、過疎化と高齢化が進んでいます。

美しい里山の風景



地元の方々がずっと守ってきた風景です。いわき市の水源の森にもなっています。

しかし、原野の事象により、福島県の森林、里山は苦境にあります。でも、廃れません。新しい里山の活用をうたひ、里山を切り口に地域の外の人も、世代を超えた交流や協力を生み出し、地域の活性化にもつなげています。その中心となるのが、この里山広場をそこで行う活動です。地域の人も、若者ボランティアたちと里山広場、そして活用の仕掛けをつくらします！



下三坂の美しい里山と、炭焼きや薪割りなどの体験ができる里山広場の整備を年度末から開始しました。

次年度は子どもたちや若者が、自然の中で思い切り体を動かして遊び、学べる広場として活用することを考えています。

木工クラフト交流会の開催

森づくり活動で除伐、間伐などの作業を行うと、木材が取れます。その木材を有効活用し、子どもからお年寄りまで幅広い人たちが木と親しむ機会をつくれるように、木工クラフト交流会を開催しています。イベントにも声をかけていただく機会が増えました。



【4月10日 いわきサンシャイン博】
三和町のブースでの木工クラフトを開催しました。親子でたくさん参加してくださいました。

【10月22日 いわき市のいわき大交流フェスタ】
屋外のイベントで楽しく開催できました。



【10月23日 三和町ふれあいフェスタ】
三和町のふれあいフェスタに初めて参加させていただきました。

【12月23日 広野スタイル2016】
広野町でのイベントに初めての参加でしたが、親子で楽しんでいただけました。



【2月18日 IWAKI里山交流フェス】
小名浜さんかく倉庫にて開催され、小さい子どもも真剣に作ってくれました。

【1月22日 プランターと木のおもちゃづくり】
いわき四倉交流サロンにて年配の男性も女性も楽しめる木工ワークショップを行いました。

木工クラフトを楽しんでいただく機会が増え、整備から活用までの一連の流れを仕組みにすることができてきました。次年度は拠点に出来た木工クラフト工房を正式にスタートできる予定です。木工クラフトを通じて木と触れ合う機会を増やしていきたいとおもいます。

福島県の森づくり団体応援ツアーの開催

若者たちと福島県内の各地でがんばって活動をされている森づくり団体の活動にグループで参加するというプログラムです。若者たちがもっと森づくりに参加し、ベテランの団体と一緒に力を合わせる仕組みです。



【会津ツアー（5月26～27日、6月30日）】

美しい背あぶりの森を守る会の活動に、参加させていただきました。猪苗代湖の見える山道の整備やスギの皮むき間伐を行いました。



【いわきツアー】

NPO法人いわきの森に親しむ会の活動に参加させていただきました。森づくりのベテランの皆様にご道具の使い方から丁寧に教えていただき、栗園跡地の整備を一緒に行いました。



【白河ツアー（9月22日、10月27日、11月13日）】

県南、木もれび倶楽部の活動に参加させていただきました。子どもたちが遊ぶ里山の整備や、実際に幼稚園のこどもたちとの里山活動と一緒にを行いました。



11月12日、うつくしま21森林づくりネットワークの活動報告会で、若者達との森づくり活動の様子を発表させていただきました。

森林ボランティア団体の多くは、活動メンバーの高齢化という課題を抱えています。素晴らしい活動をされてきた団体が、次の世代にその活動をバトンタッチできるように、若者たちの森づくり活動への参加を進めています。作業を一緒に進めることだけでなく、何気ない会話の中に若者が学ぶべきことがたくさんあります。さらに若者と触れ合うことで今後の活動に不安を抱えていたベテランの方も元気づけられたと話してくださいませ。次年度以降さらに仕組みを整えていきたいと考えています。

林業会社との協力事業～若者たちと林業をつなぐ活動～

今年度からスタートした林業会社との協力事業では、いわき市で活躍する林業会社の一つ、有限会社平子商店の皆様と協力し、若者たちがもっと林業について知り、関心を高めることができるように、勉強会や、プロと行う森づくり活動、現場視察ツアーを開催しました。その他ホームページの開設やいわき林業女子会の立ち上げなどを行いました。



プロと行う森づくり活動では、チェーンソーで大きな木を切る作業を実際に見せていただき、また森づくり活動の基本作業について社員の方に指導していただきました。



林業の現場視察ツアーでは、大型機械で森林整備作業を進める現場を見せていただきました。見たこともない機械を使い、安全にも配慮した技術で作業を進めていく様子を間近で見させていただきました。

～参加者した若者の声～

- ・人生で初めて林業に関わった日でしたが、木が倒れた時のものすごい音と、木が地面に倒れた時の周りの土や、埃が舞った時の迫りに圧倒されたのをしっかり覚えています。林業の話もとても興味深かったです。
- ・年齢の近いスタッフさんもいるということを知り、更に林業についての興味が増しました。☺

いわき林業女子会(きこりーな・いわき)

女性の視点、感性、感覚をいかして林業や森林をより魅力的なものにしていこうという林業女子会の取り組みが各地で広がっていることを受け、いわき市でも林業女子会が発足しました。平子商店の女性社員の方や、私たちの活動に参加してくれている若者が主体となり、イベント企画等を行っています。



【きこりーな・いわき ロゴマーク完成】

2か月に1度運営委員会を行い、名称やロゴマークも自分たちで考えました。Facebookでの情報発信も行っています。



11月の第1回イベントでは、日々の疲れを自然の中でリフレッシュさせるために屋外ヨガを行いました。参加者からは、気持ち良かった、昔は森で遊んでいたけど今はなかなか行くことがないので改めて森の良さを感じた、などの感想を頂きました。

いわき市三和町下三坂での田んぼ、畑

現在使われなくなった田んぼをお借りして、今年もお米を収穫することができました。地域の方に教えていただきながら、ボランティアの皆さんと一緒に作っているお米です。また、畑では地域の方と一緒に様々な野菜を育てることが出来ました。



5月の田植え。地元のベテランの方に教えていただきながら若者たちが行いました。一部手植えにも挑戦しました。



7月～9月にかけて田んぼ周りの草刈りや田んぼのヒエ取りを繰り返し行い、お米を作る大変さを感じながら、自分たちのお米への愛情も強まってきました。



10月に稲刈り、はせがけをしました。お米は「せせらぎのお米」と名付けています。



11月に新米フェスタを開催しました。事務所近くの神社でお米を食べながら楽しいイベントを行いました。



じゃがいも、かぼちゃ、キュウリ、らっきょうなどを植え、毎日水やりをして大切に育てました。

一緒に取り組んだ若者も、田んぼは夏の草刈もふくめ、こんなに手間がかかるということ、体でわかる人が増えてきました。収穫の喜びと共にお米は大切に、という気持ちが高まります。機械が充実した時代でも、昔ながらの方法に挑戦することで今の若者があまり経験できない、食べ物のありがたみを感じられる活動を続けていきます、

いわき市三和町下三坂での地域行事・交流

下三坂地区では運動会や清掃デー、秋祭りなど年間様々な地域行事があります。フクシマ環境未来基地も参加させていただき、年々地元の方との交流が深まっています。また今年度は若者たちが企画した団体主催イベントも行うことが出来ました。



【異文化交流会／また会いましょうの会】
事務所に地域の方を招待し、料理を振舞ったりゲームをして楽しみました。多くの方が来て下さり、団体の活動についても紹介することが出来ました。



【6月19日 下三坂運動会】
若者20人と一緒に参加させていただきました。歌やダンスの出し物を披露したり最後にはBBQを一緒にして、温かく迎えて下さる地域の方との交流を楽しむことが出来ました。

若者に聞いた、下三坂のここが好き！

下三坂アンケート

フクシマ環境未来基地では、週末ワークキャンプを多数開催しており、毎回大学生を中心とした若者たちが下三坂に集まり、一緒に活動をしてきています。過疎化が進む地域に、リピーターとなって来てくれる若者たちにとって、この場所の魅力は何かを知るために年度末からアンケート調査を開始しました。

回収アンケート数:36 年齢層:18~25 職業:大学生34、他社会人2

※一部抜粋

Q1. 参加理由	<ul style="list-style-type: none">・大学の先輩、友人の誘い・休みの日に出来ることを探していた・森林活動・田植えに興味がある・震災復興ボランティアがしたかった・リフレッシュのため・自然に触れたかった、体を動かしたかった
Q2. 下三坂の印象	<ul style="list-style-type: none">・地元似ている、どこか懐かしい。のどかで落ち着く。・自然豊か、空気が美味しい、緑がいっぱい。・高齢者が多い、歩いている人が少ない。店が少ない。
Q3. 下三坂の魅力	<ul style="list-style-type: none">・普段できない体験、新しいことに取り組める。・地域の方が優しい、受け入れてくれる。話していると人生勉強になる。・美しい自然や気持ちのいい雰囲気だと元気になる
Q4. 友達に紹介する としたら	<ul style="list-style-type: none">・自然豊かな土地で、様々な人と触れ合い、楽しみながら学んだり、活動できる・普段と違う暮らしで、新しい考え方を見出し将来のビジョンが変わるかもしれない。・ストレスをためやすい都心に暮らす人は、人の温かさに触れリフレッシュできる。
Q5. してみたいこと	<ul style="list-style-type: none">・地域の方と一緒に何か作ったり、お話ししたり、もっと交流したい。民泊。・地域の方に知識や技術を教えてもらいたい・三和で作った食材で料理教室、三和で採れた木で工作

～海岸林の再生に市民の力を～

「苗木 for いわき」プロジェクト

2012年から始まった「苗木 for いわき」プロジェクトは、より地元根差した活動に転換していくために、今年度より事務局をフクシマ環境未来基地に移管し活動に取り組んできました。今年度もたくさんの企業、団体、個人ボランティアの皆さんと活動することができ、現場の整備作業も、苗木の植林も前進させることができました。

平成28年度の活動指標

- 活動日数 39日
- 参加ボランティアの数 延べ1,238人
- 寄付総額 784,281円

初年度に植えた苗木は、右の写真のように人の高さよりも高く成長しています。



【整備、地拵え】

大きな松の木も枯れが続いており、広範囲での整備が必要です。ベテラン森づくりボランティア団体の皆さんを中心にチェーンソーや刈払機を使い整備を進めました。



【苗木の草刈、保育作業】

6月～9月にかけては苗木の周りの草刈りを中心に行いました。おかげで枯れる苗木も少なく、順調に育っています。子どもたちも一緒に作業をしてくれました。



【植林】

学校での活動や修学旅行の一環として中高生もたくさんきてくれました。短い時間ですが、一生懸命説明を聞き、丁寧に植林をしてくれました。



今年は地元のボランティアの皆さんとの活動を増やすことを一つの柱に活動をしてきました。いわき明星大学のボランティアサークルの皆さんや、平ロータリークラブの皆さんなど地元グループとの活動の機会も増えました。

震災から年月が経つにつれて、こうした復興支援活動が少なくなり人の記憶も薄れていきますが、海岸林の再生にはまだまだ長い時間が必要です。実際に活動に参加してくれた方々は、その重要性を肌で感じてくださいます。次年度も多くのボランティアの皆さんと一緒に、美しい海岸林再生に向けて活動を進めていきます。

第1期 フクシマ コンサベーションコア プログラム

平成28年5月16日～7月16日

コンサベーションコアプログラム・・・米国で行われている若者がチームで長期間、環境や地域貢献活動に取り組むプログラム。日本では2009年にトチギ環境未来基地でスタート、今年度フクシマ環境未来基地でも初めて開催することが出来ました。

メンバー 4名(日本人2名、メキシコ人、キルギス人)
活動日数:45日



田植えでは機械の操縦に挑戦し、外国人メンバーは自国の田植えとの違いにとっても興味を持っていました。



事務所横に木工クラフト工房を建築するため、古い小屋の解体から柱用のヒノキの伐倒や皮むき作業、そして建築まで一からメンバーが中心になって行いました。



湯の岳や会津で長年森づくり活動を続けている団体の皆さまに道具の使い方や森づくりについて教えていただきました。



地元の方が野菜を持ってきて下さったり、イベントを一緒にしたりといつも気にかけて下さり、ここでしかできない交流を楽しみました。

初の長期ワークキャンプ、初のリーダーでしたが、技術も知識も得たものが想像以上に多く経験すること全てが初めてで新鮮なものだったので充実した濃い2か月間でした。大変だった作業やメンバー同士で上手いかないこともあったけど、楽しかったことや学んだこともたくさんあり、貴重な経験が出来ました。

多くの経験が出来る環境、全ての側面で充実感を持つことが出来ました。普段の生活とはかけ離れた田舎での生活に最初は戸惑いましたが、何もない場所だからこそ、自分たちで考え、協力することで一緒に活動を作り上げてきました。今では本当の家族のように感じています。

次年度も継続して開催し、次世代のリーダーを育てていくことを考えています。

フクシマ環境未来基地
平成28年度 事業報告書

平成29年6月10日発行

編集・発行 フクシマ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也
連絡先 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40

TEL/FAX 0246-85-2777

MAIL : fukushima@conservation-corps.jp

URL : <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>